ソフトマグが切り開く未来

～次世代省エネ型磁気デバイス・高周波磁気計測の構築を目指して～

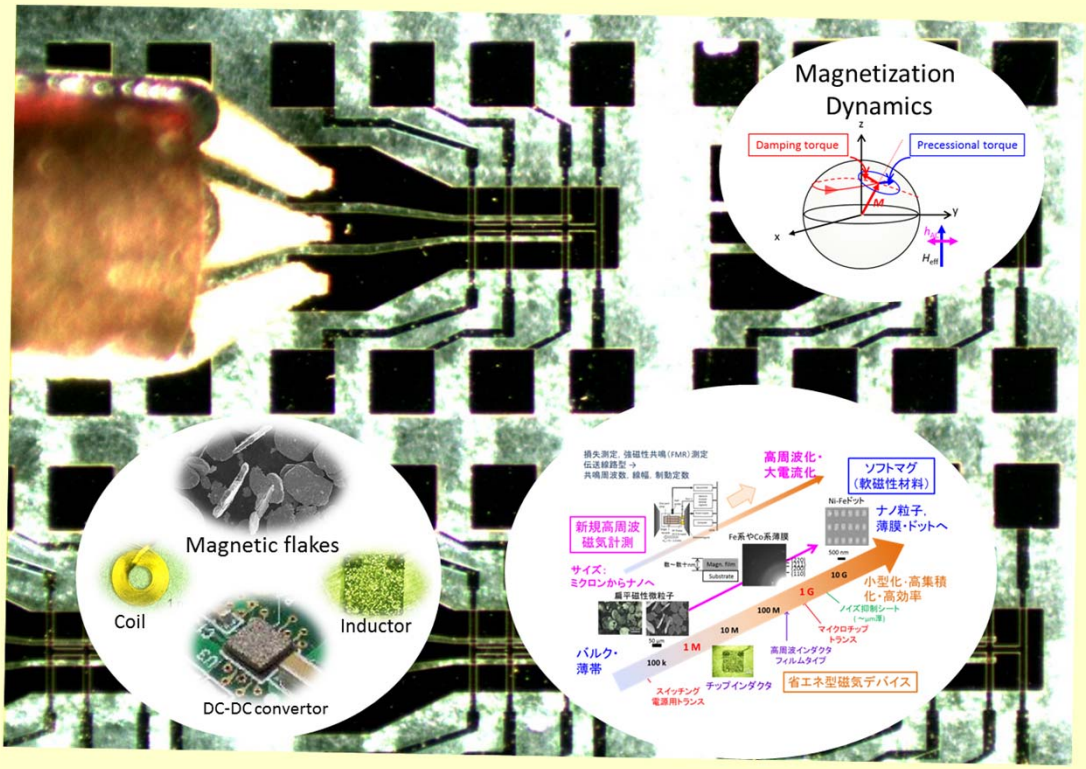
展示場所：管理棟4階403号室

研究スタッフ
准教授：遠藤　恭、研究員：Satya Prakash Pati

ソフトマグは，普段金属としてふるまいますが，磁石に近づけたりコイルを巻いて通電すると磁石のようにふるまいます。このような性質を持つソフトマグは次世代省エネ型磁気デバイスを構成する材料の一つです。したがって，ソフトマグの高周波特性を理解することが重要で，かつそのための新規高周波計測技術の開発が必須となっています。

当研究室では、ソフトマグを用いたデバイスや、ソフトマグの高周波特性を理解するための計測技術の構築を目指しています。

研究テーマ

- 高周波マグネティックス計測技術の開発
- ナノからマイクロ領域スケールのソフトマグ材料の探索
- 次世代省エネ型高周波磁気デバイスの創製

展示室では、デモも実施していますので，お気軽にお越しください。